

科目番号	科目名			英語名		
HE32013	生化学成分検査学実習			Practice of Clinical Biochemistry		
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室	
2年次	計2単位	秋学期 A, B C	月曜日	3～5 時限 3～4 時限	4B211	
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）						
正田 純一（学系棟 860・91651・在室時） 中川 嘉（健康医科学イノベーション棟 703・3345, 91749・在室時） 蕨 栄治（4A 棟 872-2・3291・在室時） 吉田 文代（4B 棟 208・7995, 91344・在室時）						
学習目標						
血液試料に含まれる生化学成分を、それぞれの測定法に従い、分析する（臨床化学）。分析上の変動因子や生理的変動要因を考慮しながら、基準値等を用いて、分析結果を評価する。						
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル						
1. (10/1) オリエンテーション、試料と試薬の調製 2. (10/9) (火) 総タンパク質と血清アルブミン検査法 3. (10/15) タンパク分画検査法 4. (10/22) 非タンパク性窒素検査法 1：クレアチニンとクレアチニン・クリアランス 5. (10/29) 非タンパク性窒素検査法 2：尿素窒素 6. (11/12) 非タンパク性窒素検査法 3：ビリルビン 7. (11/19) 脂質検査法 1：リポタンパク分画検査法 8. (11/26) 脂質検査法 2：総コレステロール、HDL-コレステロール、トリグリセリド 9. (12/3) 試料と試薬の調製 2 10. (12/10) 酵素検査法 1：ALP 11. (12/17) 酵素検査法 2：AST 12. (1/7) 酵素検査法 3：LD と LD アイソザイム 13. (1/15) (火) 無機質検査法 1：カルシウムと無機リン T 14. (1/23) (水) 無機質検査法 2：鉄と TIBC 15. (1/28) 実習試験 16. (2/4) 予備日						
単位取得要件	出席、レポート提出、試験における及第					
使用教科書・教材	生化学成分検査学実習書（オリジナル・24年度版） 教科書：臨床検査学講座／臨床化学検査学（医歯薬出版）					
成績評価	出席状況、レポート・口頭試問、期末試験（実技及び筆記）					
備考：①出席率 70% 未満の場合は期末試験を受けることができない。 ②一度でも D 評価のレポートがあった場合、期末試験を受けることができない（他人のレポートをコピーした場合は D 評価となる）。 ③ 臨床化学は実践的学問である。予習が大切で、微量検体で正確な検査結果を迅速に出せるよう心がけて欲しい。 HE40043(国際医療科学主専攻)と同一						